

# エジプトに導入された日本型教育とTokkatsu

國學院大學 杉田 洋



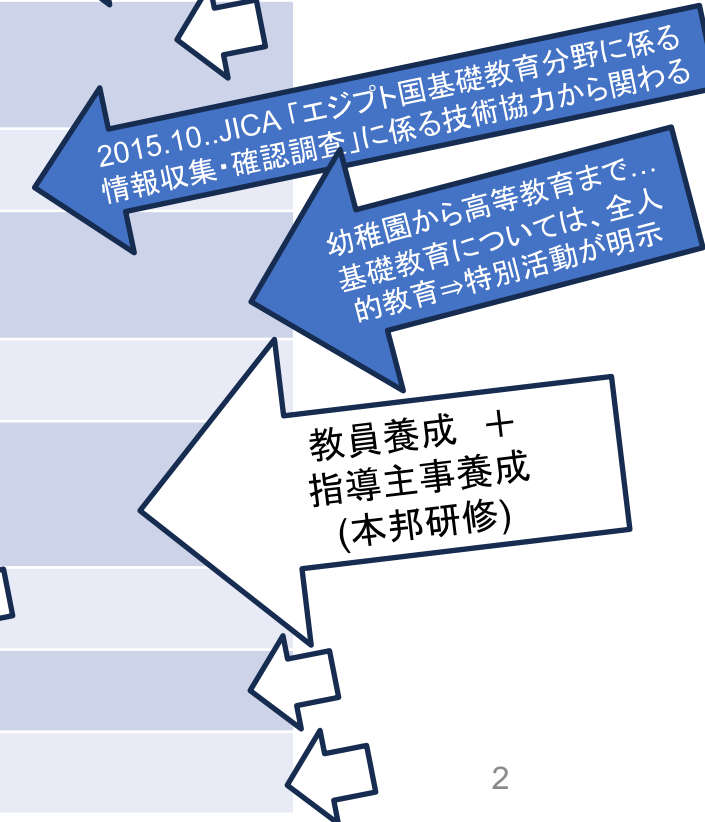
日本特別活動学会第33回つくば大会 課題研究 4

令和6年9月8日(日)

# エジプトでのTokkatsu導入 8年間の関わりを通して

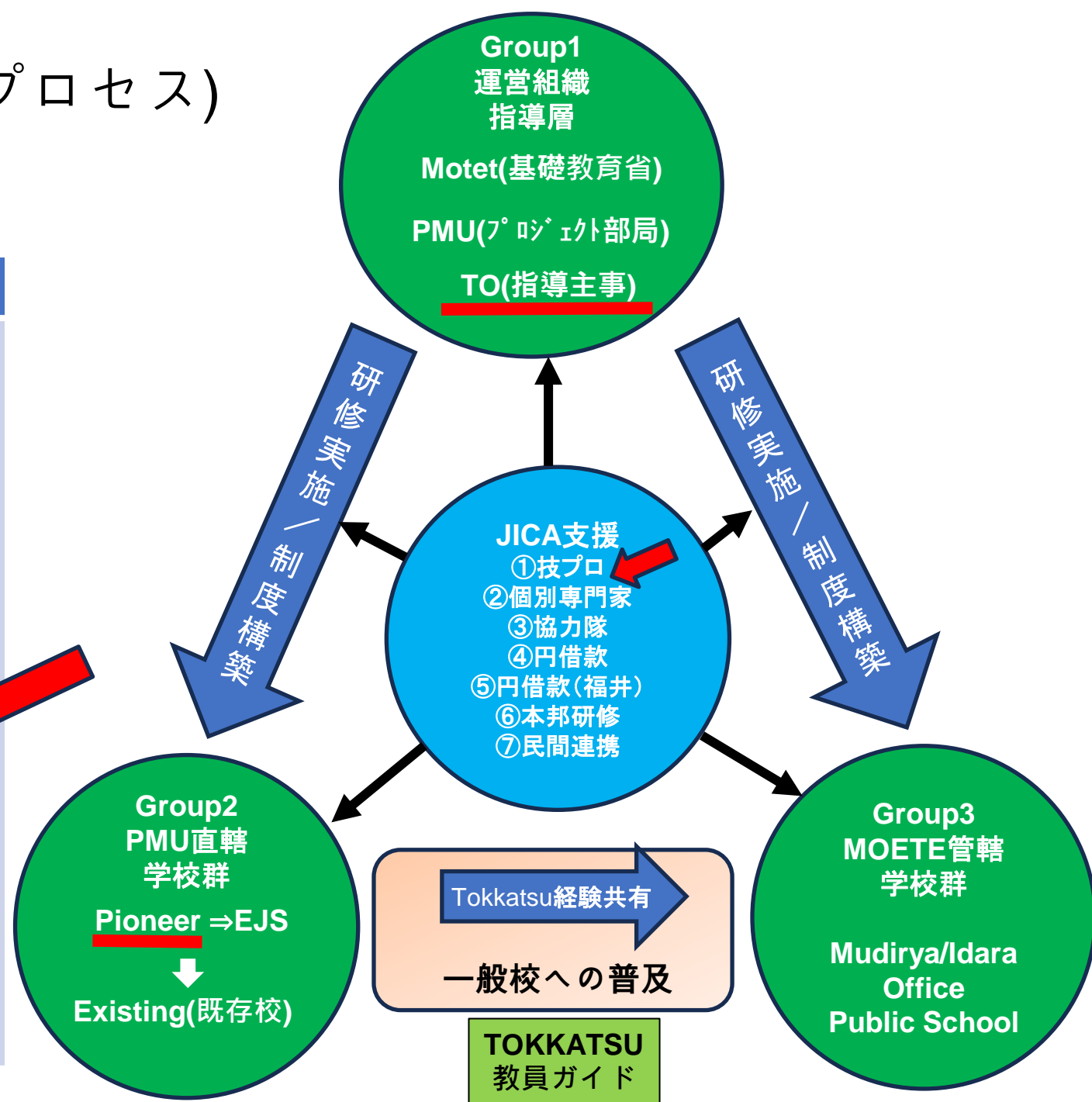
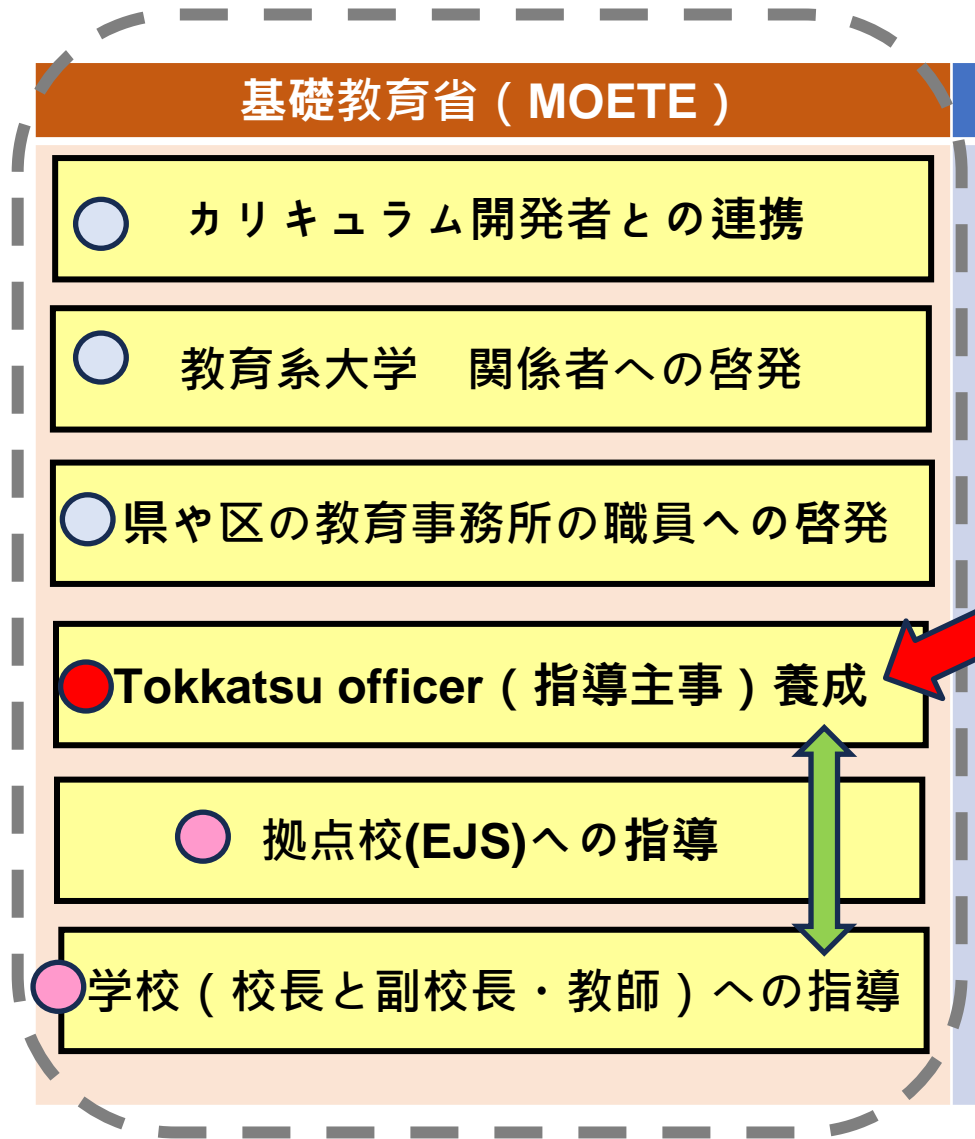
きっかけは2015年エジプトシシ大統領の求め ⇒ 双方で国を挙げて 予算確保も... ⇒ 1年間かけて何ができるか  
抜本的な教育改革(Education2.0) ⇒ ドリームチーム来日 ⇒ 小学校の学習指導要領に位置づけ ⇒ 日課表へも

2015年1月:	エジプトと日本の首脳会談
2015年2月:	エジプトから日本への教育協力要請
2015年8月:	JICAによる基本情報 収集調査の開始
2015年10月:	エジプト大統領特別顧問 (国家安全保障担当) 基礎教育大臣等の訪日
	JICAによるプレパイロット活動の開始
2016年2月:	エジプトと日本の首脳会談 エジプト日本教育パートナーシップ (EJEP) 合意
2016年5月:	基礎教育省代表団の訪日
2017年2月:	JICAによる技術教育プロジェクトの開始
2018年2月:	教育・技術教育大臣の訪日
	エジプト国 学習指導要領(小) Tokkatsuが導入
2021年10月:	JICAによる技術教育プロジェクト第2フェーズ開始



# Tokkatsu 普及のための経緯(プロセス)

JICAプロジェクトの対象



# JICAによるプレパイロット活動の開始(一般校)

はじめは、学習指導要領に示されている特活ではなく、特活が教育の対象としている掃除や日直、手洗いなどの日本型の学校生活だった

プレパイロット校 2校

## 助言したこと

### TOKKATSU

として試しに始めていることは、日本の学校生活

### TOKKATSU

のコアの活動は、話し合い活動

### PLUS

だけでなく話し合い活動を導入すべき

学級指導  
(教師発信型)

↓  
学級会  
(子供主役型)



毎日1個ゴミ拾い

## TOKKATSU PLUS



日直の導入



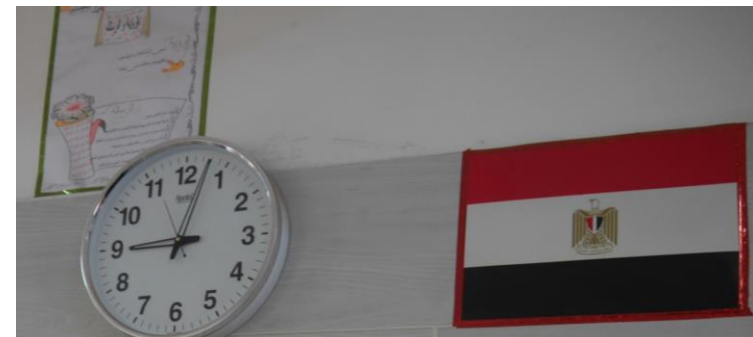
衛生指導：石鹸で手洗い



教室の掃除



整列時の定位置決め



時間を守る：時計の設置と時間厳守

生活習慣指導：早寝早起き朝ごはん

体力テストの導入

朝学習：5分間計算ドリル実施

日/時間	8:00- 8:45	8:45- 9:30	9:30- 10:15	10:15- 11:00	11:00- 11:30	11:30- 12:15	12:15- 13:00	13:00- 13:45	13:45- 14:30
日曜日	総合学習としてのアラ ビア語	英語		休み時間	総合学習としての算数	総合学習			
月曜日	総合学習としての算数	総合学習		休み時間	総合学習としてのアラ ビア語	体育			
火曜日	総合学習としてのアラ ビア語	総合学習としての算数		休み時間	英語	総合学習としてのアラ ビア語			
水曜日	総合学習	特活	総合学習	休み時間	総合学習としてのアラ ビア語	総合学習			
木曜日	宗教	総合学習としてのアラ ビア語		休み時間	総合学習	総合学習としての算数			

出典：MOETE

図 2-1 EDU2.0 の時間割（小学校 1-3 年生）



# دليل المعلم للأنشطة الخاصة (توكاتسو)



EGYPTIAN JAPANESE SCHOOLS  
المدارس المصرية اليابانية

## 目 次

第1章	はじめに	1
1.1	本事業の背景	1
1.2	本事業の目的	2
1.3	本書の利用方法	2
1.4	本書利用者による本書の改善	4
1.5	改訂のスケジュール	4
第2章	本事業で目指す日本式学校とは	5
2.1	日本式教育における全人教育「生きる力」	5
2.2	「豊かな人間性」を育む、小中学校の特別活動（特活）	7
2.3	「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」の全てに繋がる、幼稚園での遊びを通じた学び	10
2.4	EJSでの生活	12
2.4.1	Expected School Life in Basic Education Stage	12
2.4.2	Expected School Life in Kindergarten Stage	13
第3章	日本式学校の前提条件である児童中心の学校への変貌（誰のための学校か？）	16
第4章	特活を計画・実施する前に学校がすべきこと：学校教育目標の策定（何のための教育か？）	18
4.1	活動の要約	18
4.2	エジプト日本学校における校長の役割とは？	19
4.3	学校教育目標	20
4.4	学校に最低限つけて欲しい3つの力	23
4.5	学校運営はチームを作って取り組む	23
4.6	学校に最低限つけて欲しい3つの力の詳細	25
4.6.1	その1：自己改善能力	25
4.6.2	その2：教師の質改善能力	42
4.6.3	その3：親・地域社会との連携能力	46
4.7	まとめ：目標の共有 x チームワーク x 内にも外にも学校を開く	50
第5章	特別活動（特活）	55

5.1	特活の目標	55
5.2	特活の教育的意義	56
5.3	特活の分類	57
5.4	学級活動	58
5.4.1	（児童による合意形成に基づく）学級会	59
5.4.2	学級会で決めた内容の実施と振り返り	73
5.4.3	（教師による児童の意思決意に基づく）学級指導	74
5.4.4	清掃活動	84
5.4.5	日直	88
5.4.6	朝の会・帰りの会	91
5.4.7	係活動	94
5.5	児童会活動	94
5.6	学校行事	94
5.7	活動のアイデア	95
5.7.1	「児童による合意形成に基づく学級会」のアイデア	95
5.7.2	「教師による生徒指導に基づく学級指導」の活動のアイデア	106
第6章	幼稚園におけるあそびを通じた学び	112
6.1	日本における幼稚園の目的	112
6.2	幼稚園における教師の役割	112
6.3	「あそびを通じた学び」の教育対象領域と生きる力との関連	114
6.4	幼稚園における遊びを通じた学びの内容	114
6.5	活動のアイデア	119

2-合意形成するための話し合い：学級会は、特別活動の時間で実施することができます。

3-合意形成したことの実践：みんなで合意したことは、以下のとおり実施されます。

a: お楽しみ会やスポーツ大会などのイベントは、次週の特活の時間で行うことができます。

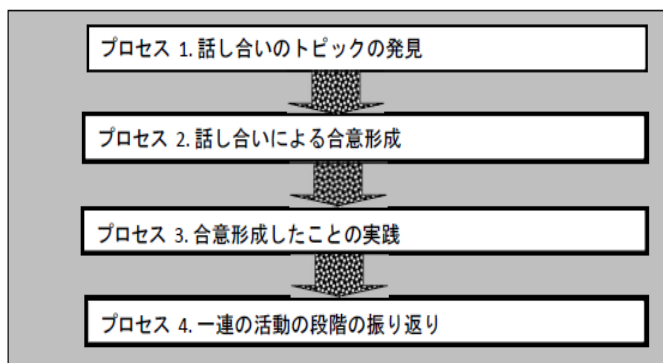
b: もし、イベントのための準備や練習が事前に必要な場合は、次週の特活の時間を使って行い、イベント自体は3週目に実施することもあります。

c: 学級のルールに関するところの場合、話し合いの直後から日々の学校生活の中で実施していかなければなりません。

4-振り返り: イベントのすぐ後、記憶が鮮明なうちに、実施したことの振り返りをする必要があります。

学級のルールに関するところの場合、その有効性や適性について確認するために、学級会からしばらくたった後に振り返る必要があります。

#### 学級会を実行する段階



#### 1.1.9 学級会での話し合いに適した議題の例：

学級会は、児童が自分たちの学級や学校をより良くするために行うものですので、次の内容について話し合います。

1. 学級のみみんなで一緒にやりたいこと
2. 学級にみんなと一緒に作りたいもの
3. 学級のみみんなで決めなければならないことや解決したいこと

上記の分類を踏まえ、いくつかの例を示します。

議題の分類	議題例	提案
1. 学級のみみんなで、一緒にやりたいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 転入生の歓迎会をしよう</li> <li>・ お楽しみ会をしよう</li> <li>・ クラス全体が参加できるようなルールを変えたサッカー大会をしよう</li> <li>・ グループでゲームをしよう</li> <li>・ お互いのがんばりを称える学年末のイベントしよう</li> </ul>	児童からの提案
2. 学級のみみんなと一緒に作りたいもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラスのスローガンを決めよう</li> <li>・ クラスの歌を作ろう</li> <li>・ クラスの雑誌を作ろう</li> <li>・ 手作りのもので教室を飾ろう</li> </ul>	
3. 学級のみみんなで決めなければならないことや解決したいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなが守るクラスルールを作ろう（学校の規則のようなルールは、教師や学校が設定してはなりません。生徒たちは自分たちに許される範囲でのルールを話し合い決定することができます）</li> <li>・ クラスで係活動を決めよう</li> <li>・ 掃除のグループを決めよう（児童が問題を見出し、自分たちで解決したい場合）</li> <li>・ 学校行事の中でクラスの出し物を決めよう</li> <li>・ 遊ぶとき、使用されている道具を交代するためのルールを決めよう</li> <li>・ 学年末のパーティーを決めよう（このようなパーティーを行う場合）。</li> <li>・ 学級のエンターテインメントプログラムを決めよう（このようなプログラムを作る場合）。</li> <li>・ 運動会での学級の役割とスローガンを確定しましょう。</li> <li>・ 芸術展示会での学級のブースをどのように飾るかを決めよう。</li> <li>・ 学校内での児童権利についてのイニシアチブを紹介する1分の動画を作ろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師、学校、児童会からの提案</li> </ul>

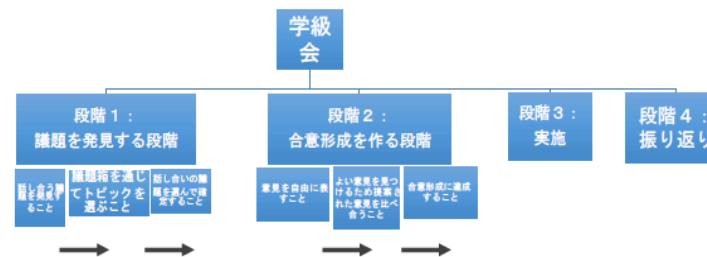
#### 10 学級会では話し合うことがふさわしくない議題

すべての議題が学級会で話し合うのにふさわしいわけではありません。生徒たちが話し解決策を実施できないような内容もあります。以下にその例を取り上げま

ふさわしくない内容	理由
-----------	----

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地域のごみ問題」</li> <li>・ 「エジプトの観光問題」</li> </ul>	これらは学級や学校を超える内容であり、たとえ話し合い、解決策を出したとしても、児童だけで解決できるものではありません。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「暴力を振ること」</li> <li>・ 「遅刻をしない」</li> </ul>	これらの生活指導的な内容は、第2節の「学級指導」で教師によって指導されるべき内容です。

1.1.11 学級会を実施する段階  
学級会を実施する段階を以下に示します。



#### 1.2 第1段階：話し合いのトピックの発見

第1段階の手順は、次の通り行われます。

1. 話し合いのトピックを探す  
学級会の初めに、生徒たちはみんなと一緒にしたいこと、みんなと一緒に作りたいもの、クラス内で解決したいトピックについて決定します。まずはそのトピックが提案され、次に議題案になります。
2. 提案箱の活用を通じて議題を提案する
  - 議題案は、提案箱を利用すると集めやすくなります。箱をはっきりと見える場所に置くようにすれば良いです。ポストの中が見えるようにしておくと、提案が入っていることが分かるので児童の活動意欲につながります。
  - 提案者の名前、日付、提案内容、提案理由を書く提案カードをあらかじめ印刷しておくと、児童はいつでも提案することができます。

提案カード（月日）名前〔 〕

【話し合いのトピック】

【提案理由】



活動の主な目的	ステージ	検証要素	検証済み / 未検証	理由 / 備考
生徒たちは議論のスキルを身につけ、合意に達することで教室生活が改善されました。	トピックの選択	計画委員会によって行われました。 -1		
		トピックは、クラス内の生徒の生活を改善することに関連しています。 -2		
		議論のテーマは生徒の年齢や状態に適しており、生徒自身が実行できるものである。 -3		
	議論	学生たちはトピックを選択した理由とその重要性を理解しました。 -4		
		生徒たちは自分の考えや提案を述べ、自分の言葉で理由を説明しました。 -5		
		生徒たちはお互いの意見を注意深く聞き、理解しようと努めた。彼らの視点と意見や提案されたアイデアの理由。 -6		
		学生たちは、議論の目的と理由に沿って、すべての意見やアイデアを比較しました。各学生の願望を考慮に入れました。 -7		
		学生たちは、包括的であり、学生自身によって実行可能です。 -8		
		計画会議で計画された内容が考慮された議論の過程で。 -9		
		教師は、生徒の議論を注意深く聞き（必要に応じて介入し）、議論中はメモを取りました。 -10		
	実施	生徒全員が協力して、合意された内容を達成し、実行します。 -11		
		実施中、学生たちは責任を負うこと、達成感、連帯感を味わいます。 -12		
	振り返り	学生たちは実施後の感想を述べ、良かった点や改善すべき点を発表し合いました。 -13		
		教師の指導により、生徒は活動の各ステップを振り返ることができました。次の学級会に備えました。 -14		
改善のために教師に具体的なフィードバックを提供する				
良い点				



# 型を伝えつつ、理念(教師の子供への向き合い方・教育観)が大事

## 学校教育のベース・軸としてのTOKKATSU

させる、指示・強制	子供主体・自主・子供の権利
学校は、教師の自己実現の場	学校は、子供(達)の自己実現の場
教える、褒美と罰でしつける、鍛える	学校を社会にし、そこで生き方(人間関係形成・社会参画・自己実現)の体得
統一ありき・排除	多様性の発揮(Diversity) 受容・包括性(INCLUSION) 同調圧力にならないように
エリート教育 (一部の子の引き立て)	誰一人取り残されない 公平性(Equity) 誰もに出番
非人権的	基本的人権の尊重
つらい学校	学校は楽しいところ
教師の指導技術は競争(他者に教えない)	教師は、共に学び合う(同僚性が大事)
保護者はなるべく学校に関わらせない	PTA組織をつくり、学校への奉仕を義務に

# Tokkatsu指導員認定 ( TTCS )



(1) 学級活動 ( 2 ) の公開授業

ペーパーテスト 教員ガイドの理解  
論文「特活の理念」  
個人面談  
集団討論



(2) 指導主事による教員への助言指導



(3) 評価委員による聞き取り



指導の実際

- (1) Toの授業中の観察の仕方
- (2) TOがどのように指導しているか
- (3) TOの指導の意図は？
- (4) TOの評価について判定する



(4) 評点平準化会議

Stage 段階	Details 詳細	Role of PMU (PMU役割)	Role of TTCS Core Unit TTCSコアユニット役割		Role of JC Members JCチーム役割
			From TOs TOチーム	From TC/Exp. Team 専門家チーム	
Initiation Process 導入段階	Forming a TTCS Unit in PMU TTCSユニット立ち上げ	Establishing the unit ユニット立ち上げ			Authorizing the unit ユニット承認
	Prerequisite conditions of TO being evaluated 応募条件の評価	Set prerequisite conditions of TO being evaluated 応募の前提条件設定			Review the prerequisite conditions 前提条件の承認
	List of eligible candidates of TO 候補者の最終選定	List up eligible candidates of TO 候補者TOのリストアップ			
Application and screening 募集・評価段階	Application forms 願書準備		Develop application form 応募書類準備		Review the list of forms 応募書類の承認
	Announcement 告知	Announce to all TO TOへの告知			
	Applications 応募受付	Accept applications 応募受入			
	Screening 事前選考		Screening by application documents 書類審査		Review the screening result 書類審査の承認
	Orientation オリエンテーション	Organize an orientation session to those TO who passed the screening 審査通過者への説明会実施			Provide some remarks in the session セッションへの留意点回答